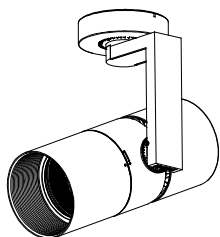


姿図



仕様

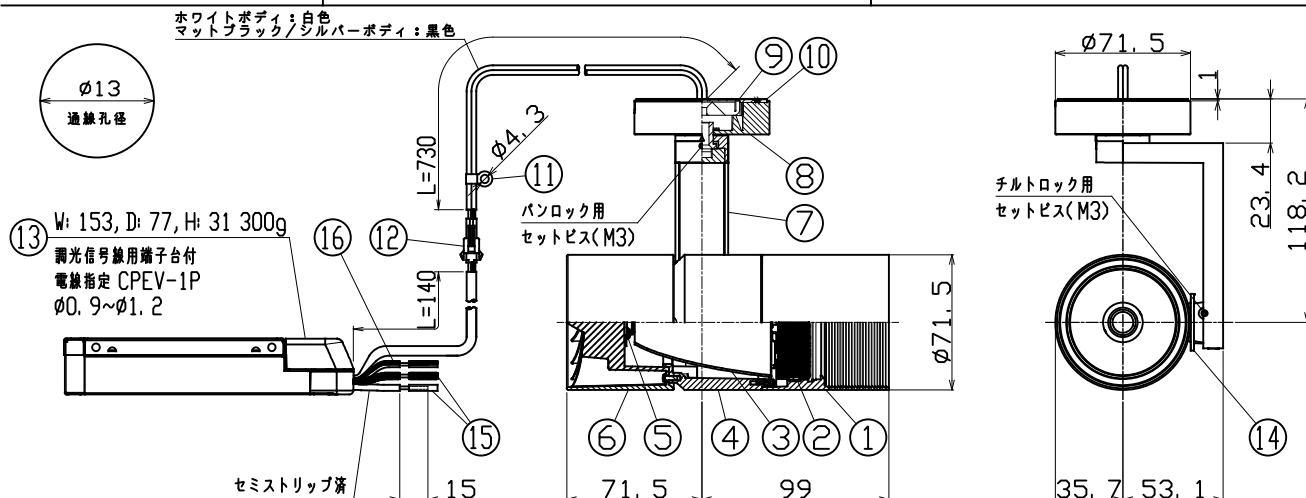
- 光源 LEDモジュール(装着済)
- ボディ ホワイト(W)、マットブラック(M)、シルバー(S)
- 配光 ナロー(N)、ミディアム(M)
- 首振角度 上10度 下90度
- 回転角度 380度
- 調光方式 DALI制御方式(L1)
- 入力電圧 100V \pm 6%、200V \pm 6%、242V \pm 6%(専用ドライバー入力)
- 入力電流 0.409A(専用ドライバー100V入力時)
0.204A(専用ドライバー200V入力時)
0.173A(専用ドライバー242V入力時)
- 消費電力 39.8W(専用ドライバーを含む、100V入力時)
39.7W(専用ドライバーを含む、200V入力時)
40.1W(専用ドライバーを含む、242V入力時)
※消費電力はJIS C 8105-3の試験測定方法による
- 専用ドライバー 定電流型(50/60Hz共用)
- 器具入力電圧 37.9V
- 器具入力電流 0.9A
- 質量 960g(専用ドライバー込み)
- パン、チャルトロック 用工具付属

製品コード

MMP-100S/3H/W·M·S/MC/N·M/30B27/L1/1
MMP-100S/3H/W·M·S/MC/N·M/30B30/L1/1
MMP-100S/3H/W·M·S/MC/N·M/30B35/L1/1
MMP-100S/3H/W·M·S/MC/N·M/30B40/L1/1

オプション

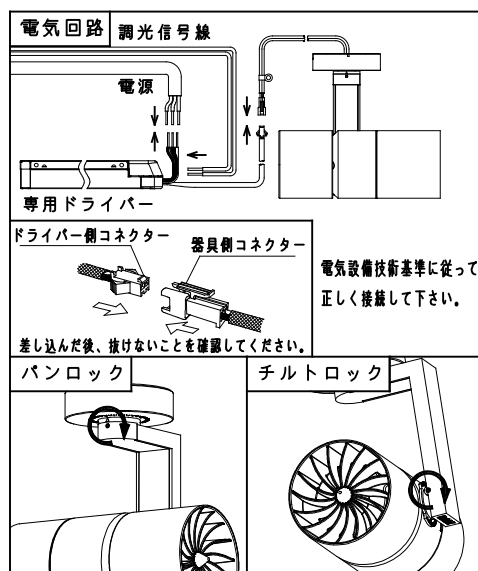
フルディフューザーレンズ	MLA-100/DF01
セミディフューザーレンズ	MLA-100/DS02
フルスプレッドレンズ	MLA-100/SF01
セミスプレッドレンズ	MLA-100/SS01
エッジコントロールレンズ	MLA-100/EC02
シャープナー (N配光専用)	MLA-100/SH01



	品 名	材 質	簡 要
1	フード	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
2	オプションホルダー	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
3	リフレクター	アルミ	_____
4	ボディ	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
5	LEDモジュール	_____	_____
6	ソケット	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
7	アーム	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
8	マグネットケース	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
9	マグネット	_____	_____
10	マグネットカバー	樹脂	滑り止めシート適用
11	セーフティクリップ	真ちゅう	_____
12	セーフティコネクター	樹脂	_____
13	電源ドライバー	_____	DALI 制御方式調光対応
14	チルトプロトラクター	樹脂	_____
15	入力ケーブル	_____	白、黒 AWG16 より線1.25mm ²
16	アース線	_____	黄 / 緑 AWG16 より線1.25mm ²

ご注意

- LEDにはバツキがある為、同一品番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 器具の近くでラジオ・テレビ等を使用しないでください。雑音が入る場合があります。
- 器具の改造は危険ですので、絶対に行わないでください。
- 灯具を上向きに照射しないでください。発熱部にホコリが積もり、火災の原因になる恐れがあります。
- ドライバーは専用ドライバーを使用してください。
- 専用ドライバー(1次側)には、送調台はありません。
- 1次側電線は、直接入力ケーブルに接続してください。
- 電気回路への接続の際には、JIS C8155規格に沿って容量計算してください。
- 調光には、DALIシステム調光器(Device Type6)をご使用ください。
- 器具は、照射物より0.3m以上離してご使用ください。
- 周囲温度0℃~35℃の範囲でご使用ください。
- 不用意に器具に触れるとやけどの恐れがあるため、配付・調整者以外がアームブリーチ内に寄り付けない手段を設ける、もしくは手が触れられぬよう器具に囲いを設けてください。
- パン、チルトがロックした状態で灯具を動かさないでください。
- パン、チルトロック用のセットピスは必ず守らないでください。脱落し、損失する恐れがあります。



- 落下防止のため、器具側ケーブルに付属されているセーフティークリップをネジ (M4) で強固な場所に必ず取付けてください。
- 器具は必ず、凹凸の無い鉄板に取付けてください。
- 器具を取りつけた後は、十分な保持力が確保され、落下しないことを確認してください。
- ペースメーカーなど医療機器に器具を近づけないでください。
- 磁気記憶媒体 (フロッピーディスク、器具カードなど) に器具を近づけないでください。
- 各種電子機器、映像機器、通信機器 (携帯電話、時計など) に器具を近づけないでください。
- 磁石が吸着する恐れがありますので、器具に衝撃をあたえないでください。
- 磁石が吸着しないよう、高温多湿環境下で使用しないでください。